

A 福祉政策課長 税や年金を滞納している方に対して、各担当課の担当者から生活困窮者自立相談支援センターを紹介する等、全課を挙げて支援につなげたい。

ファミリーサポートセンター

Q 提供会員の人材育成は。

A ことも支援課長 提供会員になるためには、9項目24時間の講習を必要とする。26年度は6月の前期と10月の後期に分けて実施し、18人の方が新たに受講した。講習を受講しやすい環境を整え、今後も人材の育成に努めたい。

地域でスワム健康運動事業

Q 健康遊具の設置場所は。

A 健康増進課長 近隣公園3か所を新たな設置場所と考えている。現在既に設置されている運動公園を含め、計4か所の設置となる。

農業大学校用地活用事業

Q 農業大学校の跡地の活用も含め、水土里の交流圏構想から見た市の計画は。

A 企業立地推進室長 跡地活用と連動するような形で周辺整備を進め、産業の振興や雇用の創出、定住の促進につながる持続的な活力を生み出す魅力的な拠点づくりに取り組む。

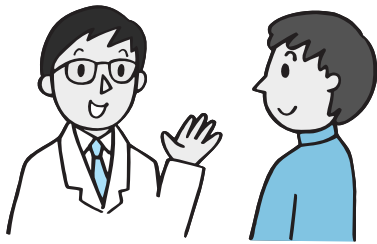
27年度は、運動公園第二期整備に向けた測量や、農業大学校と運動公園の間にある樹林地と水辺の保全及び活用に関する調査検討等を行う。

いじめを防止する対策

Q いじめを防止する対策は。

A 教育センター所長 各中学校にさわやか相談員の配置をしているが、それに加えて、教育センターに臨床心理士を週に1回配置する予定である。この臨床心理士には、必要に応じて各校のいじめ防止に関する組織へ参加させることも検討している。

また、小学校には、週に1回、教育センターの相談員が巡回相談にあたっている。保護者向けとして、相談の大切さやスマートフォンへの取扱いに関する講演会を26年度に行ったが、これを27年度以降も継続していく予定である。



特別会計予算 () は、前年度予算額

国民健康保険	86億9783万円 (76億9337万円)
後期高齢者医療	5億2972万円 (5億1195万円)
介護保険	32億9760万円 (31億6462万円)

一本松土地区画整理事業	3億2038万円 (2億9885万円)
若葉駅西口土地区画整理事業	3億1431万円 (4億3991万円)

一本松土地区画整理事業

Q 31年度の事業完成に向けて、27年度の取り組みは。

A 区画整理課長 27年度末の見込みとして、仮換地指定率が87%、移転を要する建物の残りは、14戸となる予定である。一本松駅南口通り線の整備を重点的に行い、早期の完成を目指す。地権者の意見を聞きながら、きめ細かい対応をし、31年度の事業完成に向けて進めていきたい。



若葉駅西口土地区画整理事業

Q 31年度の事業完成に向けて、27年度の取り組みは。

A 区画整理課長 27年度末の見込みとして、仮換地指定率が92・1%、建物移転率は80・5%で、残りは16戸となる予定である。今後は、共栄一本松線の南側の区画道路の整備を重点的に行い、完成に向けて事業を進めていきたい。

国民健康保険

Q 特定健康診査の受診率向上への新たな取り組みは。

A 保健センター所長 スタンプラリーの実施を検討している。健康づくりの事業や健診等を受診した方にスタンプを集めていただき、三つ集めた方につるゴントオルを進呈すること等を考えている。

後期高齢者医療

Q 被保険者数の増減と保険料の額は。

A 保険年金課長 被保険者数は、20年度は各月の平均で3771人だったが、27年1月では5490人と増加している。保険料は、2年ごとの改定のため、26年度の額と27年度は同額である。

介護保険

Q 第6期の介護保険制度改革についての市の見解は。

A 高齢者福祉課長 施設での介護に加え、高齢者の方が可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けられる社会を実現するための制度改正だと考えている。市としては、そのような社会を目指して、27年度に鶴ヶ島市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画の策定を予定している。